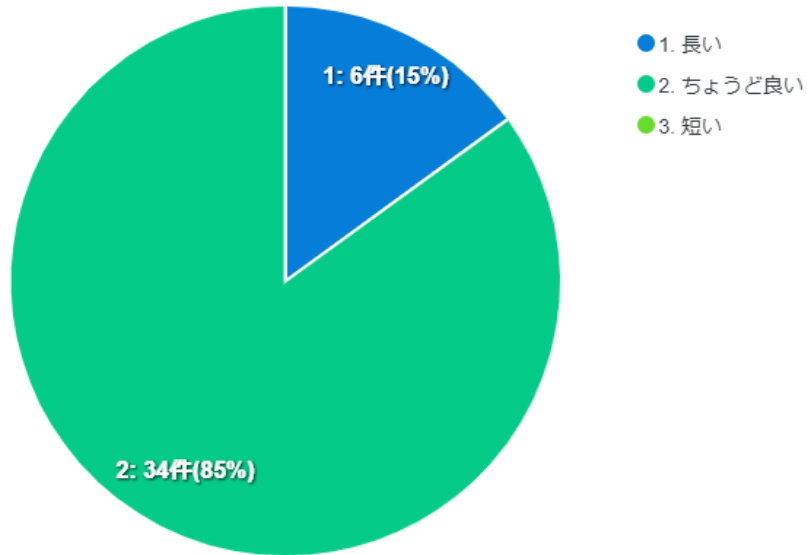


10/30

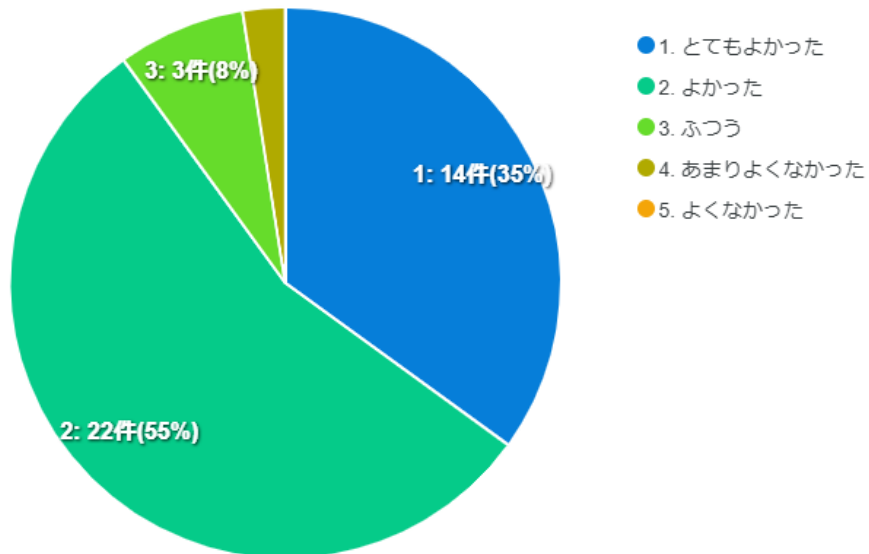
## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

## アンケート結果まとめ(アンケート回答数 40 件)

## Q1.研修の時間について(2時間)



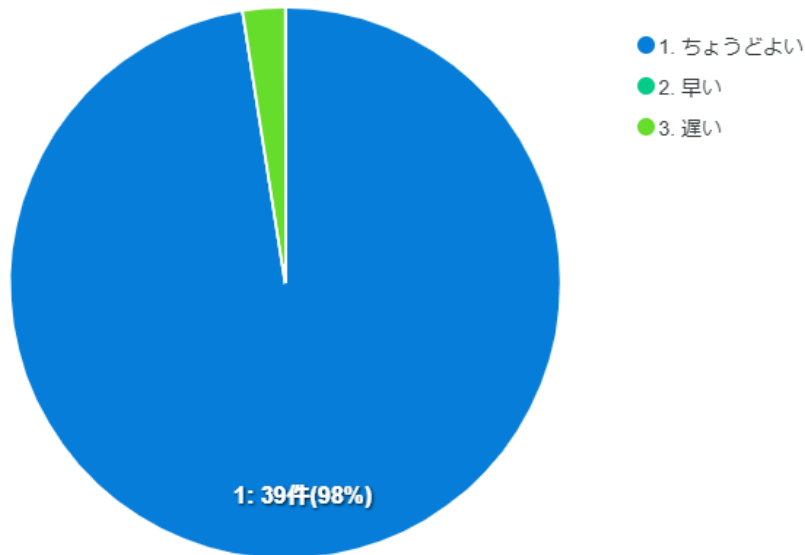
## Q2.研修の内容



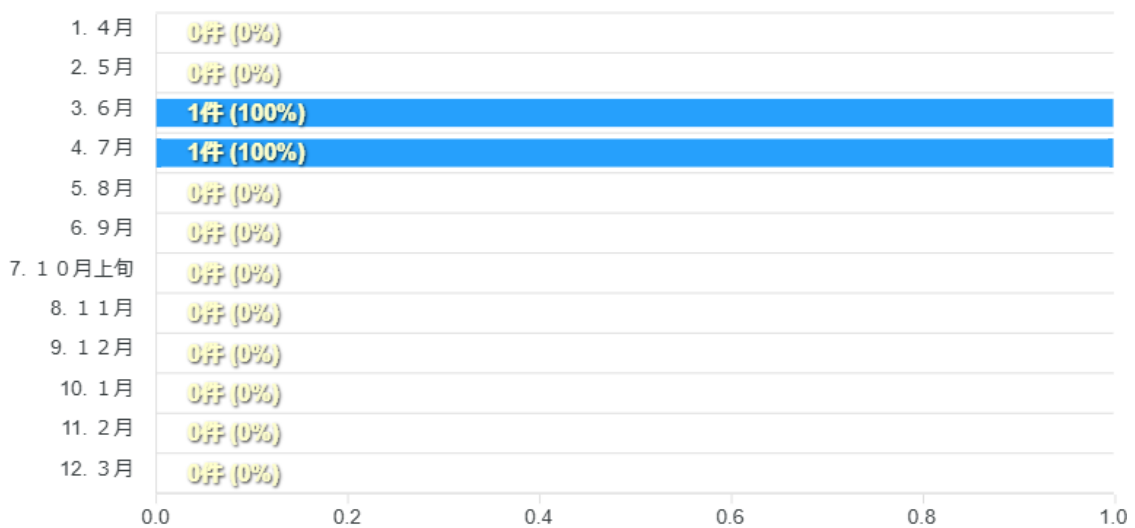
10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

Q3.研修の実施時期(10月30日開催に対して)



Q3で「早い」「遅い」と回答した方の希望の時期



時間、内容、開催時期について、いずれも肯定的な回答が多かった。

研修内容について、業務だけでなく普段から子どもが話しやすい様に心がけて意見を聞くようにしようと思ったといった回答が多く見られた。また、当事者の実態・事例や、職員としての具体的な対応等を知りたいという意見が多かった。今後過去の研修の動画を公開することも検討とする。

今年度も参考になる回答が多く見られるため、今後の業務や次回の研修に反映させたいと思います。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：市長公室

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→実際に役所の中で子どもたちと関わっている方にどのようなことを意識して接しているか等お聞きしたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→しっかりと目線を合わせ、傾聴すること。ただ聞くだけでなく、表現する側（子どもたち）の訴えていることを理解するために努力をしようと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子どもと一括りに言っても、年齢や性別、家族構成等、置かれている状況によりどのような接し方が必要かを考えることが大事であると改めて感じました。

→行政職員として、他課とも連携し、子どもの聴こえてこない声にも耳を傾けられるような体制を整えていきます。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：会計課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子ども食堂に参加してみたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→こどものやりたいことを、いっしょにやりたい。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→こどものころ、我慢していたと思っても、障害があり今ではずいぶん迷惑をかけたと思う。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：議会事務局

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子どものわがままをどこまで許容してあげるべきか

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→まずは話しやすい環境をつくるために、ゆっくり話しをする時間を日々設ける

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→他の方の子育ての仕方などが知れる良い機会になりました。

ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：環境政策課

Q1.研修の時間：長い

Q2. 研修の内容：あまりよくなかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→世界的な子どもの貧困の原因の一つとして、地球温暖化の影響も考えられる。

日本での影響が出ているのかどうかを知りたい。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→環境学習を通じて、幼稚園・保育園、場合によっては小学生の意見を現場で聞き取るようにしたいと考えた。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→講師の方から聞く意見表明の実践例が、大人の押し付けのように感じた。

こうあるべきという考えがまだ残っているのか、私が研修を通して理解できなかったのか。

色々考えがあると思いますが、意見表明という表現が適切ではないのでは？と感じた。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：介護保険課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：ふつう

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→今は特にないです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→大事な時に「どうせ話を聞いてくれない」と思わせないように、常日頃から子どもの話に耳を傾けようと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→貧困の具体的な事例紹介（良い結末・悪い結末含め）があった方が良いです。自分の身の回りにヤングケアラー等がいないとあまり実感がわかない領域だと思います。

今思えば、中学時代の友人がヤングケアラー（当時は用語自体存在しない）でした。当時に戻れるなら、なんて声かけしたら良かったのかな・・・と研修きっかけに考えさせられました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：子ども家庭支援センター

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2.研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→貧困や、貧困の連鎖の事例

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→最初からこちらが聞きたいことを引き出そうとするのではなく、雑談を混ぜながらまずは子どもと心の距離を縮めることから始めたいと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→現在子どもからの相談を受ける部署にいますが、子どもの言葉だけでなく、行動や背景にも注目して、言葉にできない訴えも拾えるようになりたいと感じました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：庶務課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→具体的に支援できる場所とかそのような子どもに出会った際の対応、どこにつなげればいいのかもっと知りたいと思った。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→日常の対話が大事だと感じたので、子どもに限らずすべての人と日常の何気ない会話から大切にしていきたいと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→決めつけたりせずに相手の意見を聞くことの大切さをさらに理解できた。グループワークで意見を交換できたのでさまざまな感じ方や意見を知れ、理解が深まった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：企画経営課

Q1.研修の時間：長い

Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→「子どもの貧困のサイン」のような具体例をお示しいただければ、より実践的と思いました。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもを全くの子ども扱いとしないこと。わかりやすい言葉で同じ目線で会話をする事。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→初めて子どもの貧困に関する研修を受けましたが「確かにそうだな」と思うことがたくさんありました。ただそれを「実践できているか」と言われれば必ずしもそうではないと気づかされました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：平和と人権

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→スクールソーシャルワーカーのお話をもう少し聞いてみたかったです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもとして接するのではなく、大人・子ども関係なく対等に接することを心がけたいと思います。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子供のころにしてもらったこと、されて嫌なことは意外と覚えていませんでしたが、他の方のお話をお聞きして、親や周りの大人に言われた些細なことがトラウマになってしまふことがある、ということが分かりました。他の方とお話を聞かなければわからなかったもので、今回の研修は大変勉強になりました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：健康課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子供が大人に望むこと、子供が大人にしないでほしいこと、子供の考えをもう少し知りたかったです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→「この人になら自分の意見を話してみたい」と子供に思ってもらえるように、子供との間に信頼関係を築いたうえで、話を聞くこと

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→グループワークを通し、子供だった当時のことを思い出すことで、少し頭が若返った（柔らかくなった）気がします。「子供だから」という先入観を捨て、一人の対等な相手としてコミュニケーションを図っていきたいと思います。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：セーフティネットコールセンター

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→実際の学校現場でどのように子どもの貧困のサインが出されているのか等を知りたい。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子に関わりのありそうな事業を行った際には、事業名や建物の名称を子どもから公募する。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子供の意見表明を受け止めるということに関して、意見を伝えられる子の意見だけではなく、意見を言えない子にも意見があることを認識し、配慮していく必要があるということがわかり、大変勉強になった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：障害福祉課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→実際に貧困を経験している(していた)当事者の思いや願い。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもの話をしっかりと聞き、「この人ならば話しても大丈夫だ」と思ってもらえるようにすること。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→窓口等で子どもと接する機会があるため、今回のような研修は大変助かりました。ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：資産税課

Q1.研修の時間：ちょうど良い Q2.研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子供の貧困は、どうしても親の世代から、連鎖で起こることが多いのではないかと感じています。

この連鎖を断ち切るために、現在の子供たちに、また親世代にどのようにアクションを起こしていけばいいのか

もう一步具体的な内容を聞いてみたいと感じました。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→現在所属する資産税課では、職務上、直接子供たちと関わる機会はなかなかありませんが、

地域の団体に所属していることで、プライベートで多くの子供たちと関わるタイミングが多いです。

現在は一人の大人というよりは、お友達のような関係性を築いており、

今後もその関係性を維持しつつ、些細な相談事も気軽に話せるような、そして汲み取れるような存在になりたいと感じました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→【親は子供の人生をより豊かにするための手段でなければならない】という言葉がとても心に沁みました…

頭ではわかっているつもりでも、どうしても自分の子供になると、

こんな子に育ててほしいとか、これをやった方がいいのではないとか、

そんな自分の気持ちが出てきてしまうように感じます。

日々の生活の中で、一步立ち止まって、子供と向き合う時間をもっと大切にしたいと感じました。

とても良い研修でした。ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：政策法務課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→なぜ子どもの貧困が発生するのかを聞いてみたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→2歳の子どもがいるので、まずは自分の子どもの話をきちんと聞いてみようと思いました。どうしても親の考えを押し付けてしまうことがあるので、子どもが今何をしたいのか、どうすれば希望を叶えられるかを考えられるようにしていきたいです。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→聞こえてくる意見だけでなく、子どもの心の内の声を聞けるように聞く側が工夫することが大切なんだと気づくことができました。また、このことについて聞く側となる大人に広めていくことも大切だと思いました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：施設課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→ヤングケアラーとなる状況やパターンについての具体例など（グループワークの中で自身がヤングケアラーでしたとお話しして下さった方もいたので）

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもたちが大勢いる中で意見や主張を出来る子供だけでなく隠れてしまっている意見や状況を意識するよおうに心がけてみたいと思う

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→有意義な研修でした

業務以外の普段の生活で意識すべき事を改めて考える事の出来る時間でした

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：福祉政策課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→市内の子どもの貧困率や状況等。子どもの貧困対策の市の取組事業。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもと同じ目線で話を聴く。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→講義で先生が話された、子どもは大きな声や多数意見に流されやすいということが心に残りました。声をあげにくい子どもの意見をくみ取ることは容易ではありませんが、必要なことと思いました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：発達・教育支援課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→

貧困対策として、「食べられること」「学べること」など足りていないことが充足されていくことが、子どもにとってどんな良い影響があるかを知りたい。

特に食について、お腹が空いているとどんなデメリットがあって、お腹が満たされるとどんな気持ちになってどんな力になるのか、栄養や心理の面から専門家のお話を聞きたい。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもが発信した希望が周りの人に理解してもらえて叶ったという成功体験につなげていくような仕組みを事業に取り入れたいと思った。

良かれと思ってお膳立てしてしまう。不登校の子の居場所支援事業の中で、「好きなことして過ごしていいよ」としていたが、それはそれで尊重しつつ、アンケートや意見箱などを使って、次回やりたいことなどを聞いて子どものアイデアや希望を実現していきたい。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→参加者のいろいろな「聞いてもらえてうれしかったこと」「聞いてもらえなくて嫌だったこと」が聞けて、為になった。

うれしかったことよりも、やはりトラウマ級の「嫌だった」のほうが覚えている。

大人として気を付けたいと思った。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：ふるさと文化財課

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2. 研修の内容：ふつう

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→今回、急用により研修には参加できませんでしたが、資料には目を通しました。そのうえでのコメントになります。

「学校」と連携し、「学校」の中で「貧困」を見出し、対処するというストーリーだったのではないかと拝察します。わたくしは「社会教育」の分野で仕事をしており、最近よく言われる「体験格差」というものに関心があります。経済的に苦しいために、有料のイベントや体験学習会に参加できないといったことです。こうした事態を克服するために、一方で受益者負担という原則もありながら、また、「貧困」家庭の子供たちを心理的に傷つけた

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→講義やグループワークに参加していないため、的確な回答ができないと思いますので、ノーコメントをお願いします。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→学校教育とのかかわりについて知ることができました。

一方で、不登校などの子供への関わりはどうしているのか気になりました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：建築指導課

Q1.研修の時間：長い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい    希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子どもはどんなときに貧困（周りと違う）と感じるのか、気づくのか。また、それを周りの人に言えるものなのか。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもの得意分野を引き出すこと。

好きなこと、得意なことを聞いてみて、それをきっかけに話が弾んだら心を開いてもらいやすいかなと思った。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→今回のテーマからは離れてしまうが、様々な部署、経験を持った人たちの知識が集結すると新たなアイデアが生まれて面白いな、と思った。

今の小学生はパワーポイントを使いこなし、人前での発表の場も多くあることから、アウトプットの力に長けているとわかった。

「こども先生」として大人に教えるような機会があったら、教える面白さを知り、教員を目指したりして、教員志望者増加につながるのでは、、と壮大なことまで考えてしまった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：産業振興課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→現在日本で子供の貧困に直面している子どもの数と現状や実態等についてお聞きしたい。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもに対して否定的な意見を言わないことで、子どもたちは何事も相談しやすくなるのではないかと感じた。子供の意見を大人が否定してしまうと、子どもは相談してもまた否定されるから相談しないという状況になり兼ねない。そのため、子どもが大人に相談しやすい環境を作ることが必要だと感じた。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→グループワークのテーマについてあまり考えたことがなかったが、子どもの立場に立ち、子どもが話しやすい環境を作ることが子供の貧困を改善するための一番の策だと感じたため、今後子どもと関わる際はこのことを常に意識していこうと思った。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：教育指導課

Q1.研修の時間：長い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい    希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→「子どもの貧困」についての具体例をもっと聞きたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→最初から怖い態度で話を聞かない・話を聞くときはちゃんと体を子供にむける

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子どもと関わりのない部署は関心が薄いと思うので、定期的にこういった研修をやって関心をもたせるのはいいなと思いました。

ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：子育て課

Q1.研修の時間：長い

Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→いまの子どもたちが実際にどんな環境にいてどんな思いでいるのか、いくつか具体的な体験談を間接的にでもいいので聞いてみたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→大人は子どもより上の立場だという思い込みを捨て、子供を一人の人格として尊重する気持ちを忘れず、目線を合わせて話すようにしていきたいと考えました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→これまでは、子どもを守るためには大人が先回りして行動することが必要だと考えていましたが、その前段階で「まず子どもの意見を傾聴することが大切」という気づきを得られました。また、自身の子ども時代を思い返して、周りの大人からの対応で悲しかったことを思い出し、「自分が今後子どもと接するときは同じことをしないよう気を付けよう」と考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：生涯学習支援課

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→「子どもの貧困」研修は始めてではないが、情報をアップデートしたいと思い、受講した。

日野市の現状を具体的な数値などで示していただく機会があっても良いと思います。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→生涯学習支援課事業「少年学級」「家庭教育支援事業」などを通じて「小さな声」を拾っていきたい。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→直接、業務に関わらないが関心があり参加する職員の方々とワークショップすることは良い経験であり、楽しい時間を過ごせた。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：市民窓口課

Q1.研修の時間：長い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい    希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子供の貧困の問題についての講義の内容でしたが、地域の方々が聞くにはちょうど良い内容だと思いました。職員向けならもっと現実感のある突っ込んだ内容でも良いと思った。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもが置かれている状況を理解してから話す。

貧困でないのであれば挨拶をしたり簡単な話をしたり、たわいない話しかけをする。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→ヤングケアラーについてもっと触れた内容であってほしかった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：納税課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→自分自身、今から約15年前、0～18歳までが利用できる施設（児童館）に配属されていましたが当時、子どもの貧困についてはあまり取り沙汰されることがありませんでした。もし今後同じような部署に配属されることがあれば、最新の情報・対応方法を知りたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子ども（特に小さな子）に対しては、目線を同じ高さに合わせて意見を聞くという事が再認識できました。

リラックスできる環境で、意見を聞くというのも参考になりました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→グループ内に年齢層の幅広い方たちがおられ、子どもの頃について「嬉しかった事例」「悲しかった事例」が似通っていることに気づきました。他のグループで、車の免許を取らされるのが嫌だったという意見もあり、時代の流れを感じる一面でもありました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：生活福祉課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→とくになし

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子供と一緒に食事をとる

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→グループワークで使用した書き込み用紙に子供の字でうれしかったことやかなしかったことが書いてあったことで、子供時代の記憶を想起しやすかった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：下水道課

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2.研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：遅い 希望の時期：7月;6月

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→経済的な貧困はイメージしやすいが、子どもの経験の貧困についての研修があると関係各課での取組にもつながっていくと思う。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→イベントなどに来た子どもたちにアンケートに答えてもらったり、機会があれば声をかけて子どもの意見を聴いてみようと思った。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→職員自身も子どもの時代があって、その時に子ども当事者としていろいろ感じたことや思ったことがあり、そういった自分自身の経験なんかも子どもの貧困対策の一助につながっていけばよいと感じた。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：セーフティネットコールセンター

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→困窮世帯のなかでも、未就学児・小学生など小さな子供がいる世帯への支援と、中高生世代がいる世帯とで、支援にどういった違いが生じてくるのかという部分を聞いてみたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→最初から何かを問いただそうと会話を始めるのではなく、まずは身近な話題から会話を広げ、それとなく家庭の話や本人が思っていることを聞き出せるようにしたいと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→意見表明というのは、積極的に聞き取ろうとする姿勢をみせる受け手がいないと成り立たないという視点は、新しい気づきで大変勉強になりました。子どもが何を訴えようとしているのかを会話の中で理解し、受け止め、支援につなげていく必要性があるという意識をもって、今後の業務に取り組んでいきたいと感じました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：都市農業振興課

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2. 研修の内容：ふつう

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→親の経済状況や教育方針など、子どもが置かれている環境によって、子どもの権利（機会創出）の範囲が限られるが、すべての子どもが同じような権利（機会）を得ることは難しいと思う。この点について、家庭がどこまで責任（経済低負担、考え方を直す）を果たせばよいのか。行政や地域がどこまで手を出すべきなのか聞きたい。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもであっても、まずは本にの言い分を聞くこと。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→グループに多世代（独身、子育て世代、子育て終了世代）がいて、それぞれの経験や考え方が聞けたことが良かった。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：市民税課

Q1.研修の時間：ちょうど良い

Q2.研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→実際の対応例をもう少し聞かせてもらえると、どのようなことに役立つのかイメージができて意義を感じやすかったと思います。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→頭ごなしに否定せず、子どもの思っていることを聞いたうえで対応する。否定が必要なこともあると思うが、子どもながらに納得ができるようにわかりやすく説明する。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→先生の話聞くために前を向きたいが、席が横向きであるのと、前を向いても目の前にほかの参加者の後頭部があり見えづらかった。

講義の際は前を向きやすい配置のほうが良いと思った。

今回はグループワークがあったので、グループワーク前に机椅子の配置を変えるのも慌ただしくて良いのかはわかりませんが。。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：職員課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→未成年者又はそれに近い年齢の市民による福祉の申請に関する応対。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもに「どう思う？」と聞いてみる。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子どもの福祉について、過去の自分と照らし合わせることができた。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：建築営繕課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→子どもの居場所づくりについて

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→設計などで子供の意見を取り入れられるような業務の仕方を考えていこうと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→少し詳細な事例の紹介などがあるとよりイメージしやすいと思いました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：文化スポーツ課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい    希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→もっと多くの人の意見が聞きたい

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→お子さんをお持ちの方とこのような形でコミュニケーションを図れたのはとても良かったです。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→子供だからと言って上から物事を発言をしてはいけないと思った

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：学務課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→ヤングケアラーへの近隣住民としてできる支援について

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→日常的な挨拶をすること。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→教育と福祉との連携と同じように地域での連携をしていくことは大切だと思います。

昔であれば隣の人たちとの交流の中で、取り立てて意識することもなく自分たちにできる支援をしていたのだと思いますが、今は隣に誰がいるのかすらわかりません。

それでも、まずは無関心でない人たちと連携していくことはよいことだと思いました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：道路課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→問題を抱えている子供たちにどう手を差し伸べればいいのか知りたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもの目線に立って寄り添っていきたいと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→私は子供と接する機会があまりないので、グループワークで生涯学習課の方、児童館の運営にかかわっていた方、子育て中の方の意見を聞き、子供は大人や周囲のことが考えていてとても繊細ということに気づかされました。子供の意見だと軽く考えずに、寄り添っていきたいと感じました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：保育課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→日野市内の子どもの貧困に関する実態や貧困対策の具体的な取組みなど

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→話しを遮らないでしっかり聞くこと（傾聴）

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→今回の研修のグループワークは老若男女でともに参加できるテーマでしたので助かりました！若い職員とも盛り上がることができました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：保険年金課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→職場で実践できるような知識を身につけたいと考えます。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→挨拶するなどして、時間をかけて信頼関係を築こうと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→こどもを「こども」としてではなく、一人の人として接することが大切だと思いました。

同時に、こどもだけでなく、どんな人にも人として敬意を持って接することが大切であるとも思いました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：監査委員事務局

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→教育費・給食費の無償化、品川区？では修学旅行費用も無償化となる中、なぜ、不登校の子供たちが増えているのか、個人的には保護者の意識による部分が大きいのかなと感じています（一人世帯のため、わからないというのが正直なところですが）。しかしながら少子化が進み、日本国の存亡にもかかわる段階まで来ているとは感じているので、子どもの貧困と少子化との関係を知り、今後の解決策を考えてみたいと思います。

また、今、多様化ということでフリースクールが流行っているようですが、教育内容が適切であるかが心配な点として、気になっているところです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→電車や公共施設でうるさい子供に遭遇すると、イヤホンで聞こえないようにしていましたが、時々は今の子供がどのような話をしているのか、聞いてみるようにしようと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→研修と直接の関係はありませんが、幼少時の記憶がだいぶ失われていることに気づかされました。退職後の生活設計と終活を真面目に考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：財政課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：とてもよかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい    希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→学校や地域、家庭でできる具体的な支援や配慮にはどのようなものがあるのか知りたいです。

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもと話す際に、まず否定せずに最後まで話を聞くことを日頃から意識して取り組もうと思いました。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→今回の研修を通して、より子どもの思いに寄り添った関わり方ができるようになりたいと思いました。

また、グループワークを通して、他の参加者の意見を知り、自分一人では気づけなかった視点を得ることができました。

10/30

## 子どもの貧困対策に関する職員研修参加者アンケート

所属課：発達・教育支援課

Q1.研修の時間：ちょうど良い                      Q2. 研修の内容：よかった

Q3.研修の実施時期：ちょうどよい 希望の時期：

Q4.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

→公共施設における子どもの料金を減免すべきか否かの考え方について

Q5.今回の講義内容やグループワークを通して、子どもの意見を聞くためにご自身で取り組もうと思ったことを一つ教えてください。

→子どもと話す際に同じ目線に立って接することを心がけていきたい。

Q6.今回の研修についての気づいたことをお聞かせください。

→ありがとうございました。